

市議会だより



にゅえんしき

4月12日(火)に市立幼稚園3園で入園式
が行われました。みんな元気いっぱい
です。たくさんのおともだちつくてね。

(写真:朝陽幼稚園)



ピーちゃん ナツちゃん

主な内容

3月定例会

- 提出議案の主な内容 ————— 2~3P
- 委員会での審議 ————— 4~5P
- 一般質問(代表4人・個人10人)の内容 — 6~14P
- 議会日誌 ————— 15P
- 審議された議案と結果 ————— 16P

(今回よりレイアウトを変更し、文字を大きくしました。)

3月定例会

提出議案の主な内容

平成28年3月定例会は、2月17日に開会され、諮問1件、議案33件、発議案2件が提出され審議されました。

平成28年度市政運営方針



▲提案理由を説明する北村市長

安全で安心な街

◆榎戸駅自由通路整備及び駅舎橋上化に係る事業、道路等整備事業、公共下水道雨水整備に係る枝線整備工事などを引き続き推進します。

便利で快適な街

◆防災行政無線デジタル化整備

工事や自主防災組織運営費、消防機庫の整備、消防自動車の購入など、災害への備えの充実を図ります。

健康と思いやりあふれる街

◆ロタウイルス感染症予防接種費助成金や「明德やちまたこども園」に対する私立認定こども園施設整備費補助金など、子育て環境の充実を図ります。

豊かな自然と共生する街

◆空き家バンク制度活用者を対象とした空き家リフォーム工事補助金やクリーンセンター・処分場管理運営を引き続き実施します。

心の豊かさを感じる街

◆中央公民館の受変電設備更新工事及び八街中学校避難階段設置工事、八街南中学校の受水槽交換工事及びスポーツプラザ玄関ホール・ラウンジ空調設備改修工事などを実施します。

活気に満ちあふれる街

◆都市部から農業に興味のある方を対象にした農業体験インターンシップ事業や、八街生姜ジンジャーエール普及促進事業補助金、八街市農業体験

ツアー事業に伴う市観光農業協会補助金などを実施します。

市民とともにつくる街

◆市民がまちづくりに参加しやすい基盤をつくるため、協働のまちづくりのあり方を調査・研究する市民参加協働事業の実施や各地区の快適なコミュニティ環境を整備するための補助事業を引き続き行います。

市民サービスの充実した街

◆移住定住促進事業の中で、市のPRや情報発信を行うウェブサイトを構築委託業務などを実施します。

人事

◆副市長の選任

・松澤英雄氏

(平成28年4月1日)



議員発議

◆議会政務活動費減額

・平成27年度までの時限措置と

して実施している、政務活動費議員1人あたり、月額2万5千円から5千円を減額し、2万円としているものを本市の厳しい財政状況に対処する必要を鑑み、平成28年度においても減額措置を継続するため改正するものです。

条例

◆特別職の給与減額

・給料(月額)を改正

市 長 86万円 ↓ 83万円
副市長 72万円 ↓ 69万円
教育長 67万円 ↓ 65万円

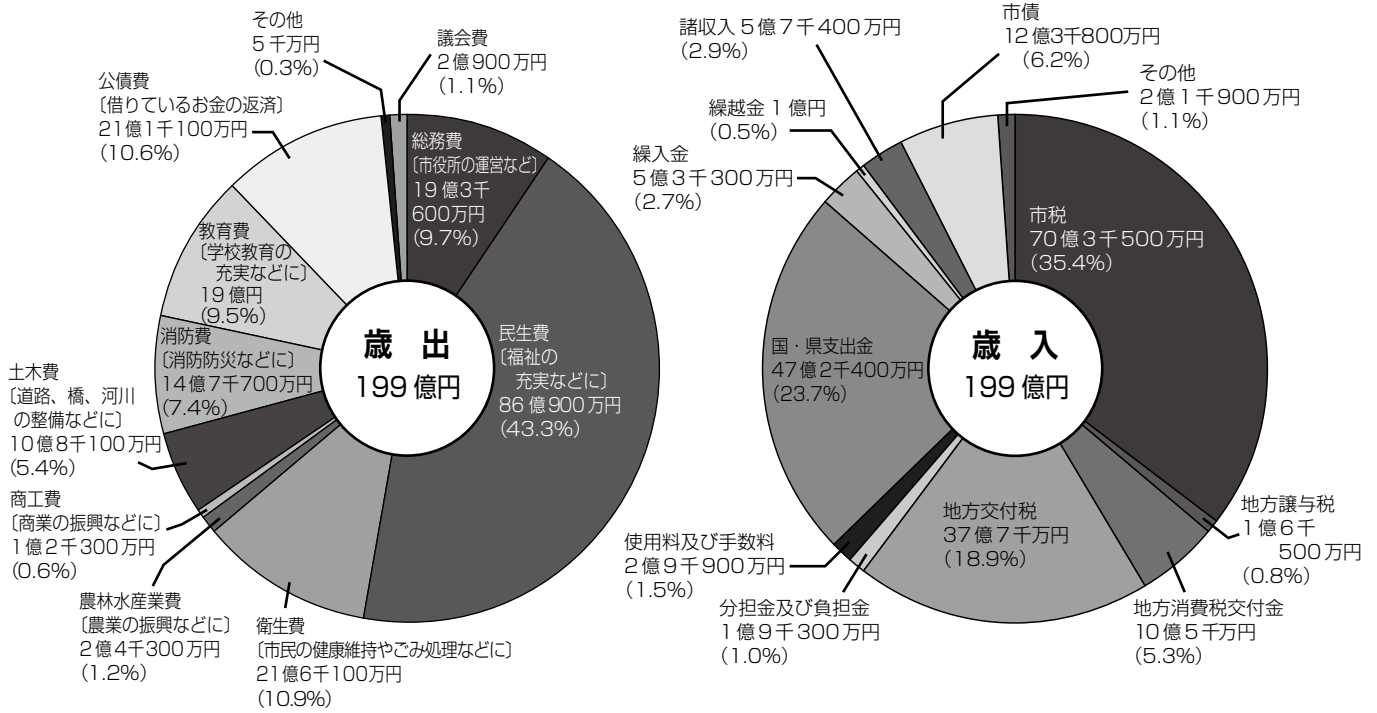
・減額措置を継続

市 長 78万8千500円
(▲4万1千500円)
副市長 67万6千200円
(▲1万3千800円)
教育長 63万7千円
(▲1万3千円)

◆一般職給料改定等

・人事院勧告及び県人事委員会勧告による民間給与との較差0.36%を埋めるため棒級(給料)表の水準の引き上げと勤勉手当の支給率を0.1カ月分引き上げます。
・本市の厳しい財政状況から、平成28年度において一般職の地域手当3%を1.5%にして、管理職手当20%を削減します。

平成28年度一般会計予算



平成28年度八街市一般会計予算、討論！(要約)

反対

市長給与の月額86万円を83万円に見直したものの、減額率15%を5%にしたことで、27年度より実支給額が5万7千500円もの増となっています。一方、4月からは市民生活を一層おびやかす国保税の引き上げ、後期高齢者医療の保険料の引き上げによる負担増では、市民の納得は得られません。また、職員地域手当、管理職手当が復活しないうちに市長はじめ3役の給与の実質引き上げは認められません。難病療養支援事業では、見舞金支給額を1ヶ月2千円から千円に引き下げました。わずかな見舞金をさらに削減する福祉切り捨ては到底認められません。家庭的保育事業等運営委託事業は、保育士の資格がなくても市長が行う講習を受ければ保育従事者として認めるといふものです。どの子ども等しく同じ水準で保育サービスを受けられるよう配慮するのが自治体の仕事です。この事業の導入により、保育サービスの質に差が生じることは認められません。地域経済活性化の重要な柱である農業・商工予算は、全体予算のわずか1.8%にとどまっています。市の基幹産業である農業を活かした元気なまちづくり、希望の持てる農業へのいっそうの取り組みが必要です。教育予算では、この間、一律削減がされてきましたが、教育に支障をきたすことのないよう予算措置をすべきです。28年7月から、学校給食センター第2調理場を委託するとしていますが、教育の一環である学校給食を対象にすべきではありません。国に、民間委託をすれば地方交付税の算定に反映させる仕組みの是正を求めるべきです。以上の立場から反対するものです。

討論

地方交付税や地方譲与税、地方特例交付金などは、国や県の情報に留意した上で、予算計上をしているほか、国・県支出金についても、現行制度で見込まれるものを積極的に活用し、財源確保に努めています。

賛成

「便利で快適な街づくり」では、榎戸駅整備事業費やふれあいバス運行事業費。「安全で安心な街づくり」では、防災行政無線デジタル化整備工事や自主防災組織運営費など、災害への備えの充実。「健康と思いやりにあふれる街づくり」では、ロタウィルス感染症予防接種費助成金や私立認定こども園施設整備費補助金など、子育て環境の充実。「豊かな自然と共生する街づくり」では、空き家バンク制度活用者を対象とした空き家リフォーム工事補助金。「心の豊かさを感じる街づくり」として、八街中学校避難階段設置工事、また八街南中学校の受水槽交換工事。「活気に満ちあふれる街づくり」では、農業体験インターンシップ事業や、八街生姜ジンジャーエール普及促進事業補助金。「市民とともにつくる街づくり」では、協働のまちづくりのあり方を調査・研究する市民参加協働事業の実施や各地区の快適なコミュニティ環境を整備するための補助事業。「市民サービスの充実した街づくり」では、市のPRや情報発信を行うウェブサイト構築委託業務など様々な事業が計上されています。人口減少や少子高齢化の影響による市税の減少、さらには、社会保障関係経費の増加等が見込まれる中で、一層の経費削減・財源確保に努め、八街市の将来像の実現をお願いして賛成するものです。

◆平成28年度 予算◆

区分	平成28年度当初予算額①	平成27年度当初予算額②	増減額①-②
一般会計	199億 円	193億9千500万 円	5億 500万 円
国民健康保険	117億 153万1千円	114億4千78万9千円	2億6千74万2千円
後期高齢者医療	5億 369万2千円	4億3千593万 円	6千776万2千円
介護保険	44億8千111万6千円	41億9千916万9千円	2億8千194万7千円
下水道事業	8億1千752万4千円	10億5千598万9千円	▲2億3千846万5千円
水道事業	14億4千539万4千円	15億1千487万5千円	▲6千948万1千円

委員会での 審査

3月1日から8日に各常任委員会等が開催され、付託された議案等が審査されました。(紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。)

総務

◆平成27年度一般会計補正予算
八街バイパスの関係で、中央公民館の駐車場部分を一部売却することのほか、どのような状況になるのか。

問 公民館前の県道に沿った駐車場一列分を売却することになります。22台分失いますが、公民館の敷地内に同じ台数分程度、駐車場を確保する予定です。

答 年金生活者等支援臨時福祉社給付金の内容を伺う。

問 一億総活躍社会の実現に向けて、低年金受給者への支援として平成27年度に実施した臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になられる方を限定して、一人3万円を給付し、生活支援を行うものです。

問 情報セキュリティ強化対策の内容を伺う。

答 本市のコンピュータネットワークは、現在業務系と情報系の2つですが、マイナンバー制度の開始に伴い、個人番号利用事務系、個人番号関係事務系、及び情報系の3つに確実に分断して、セキュリティ強化をします。

◆平成28年度一般会計予算

問 償却資産の实地調査マニュアルの成果を伺う。

答 平成26年度は太陽光発電事業により、約500万円。平成27年度は約80万円の申告漏れを指摘しました。平成28年度は4千200万円の増加を見込んでいます。

問 ふれあいバスのターミナルを八街駅前に移転することについて伺う。

答 中央公民館前にあるターミナル機能を八街駅南口に移転することについて、来年度実施に向けた計画の策定を行いたいと考えています。

問 県JR線複線化等促進期成同盟の成果を伺う。

答 今年3月のダイヤ改正において、夜の時間帯の上下線が一本ずつ増発となります。

文教福祉

◆平成27年度一般会計補正予算
問 個人番号カードを申請した方は、どのくらいか。また、交付の際に不具合はなかったか。

答 2月29日現在、5千254名の方が申し込まれていると国から連絡を受けています。機構のシステム不具合で交付に手間取ったと報道がありました。本市の窓口でも報道のあったときは、同じような状況でありましたが、現在は特に問題なく遂行しています。

問 子ども・子育て支援新制度システム改修の内容を伺う。

答 利用者負担額の算定基準が年収360万円未満相当の世帯について従来の多子軽減における年齢の条件を撤廃するとともに、年収360万円相当の一人親家庭等については、負担軽減措置に拡大し、第一子について現行の半額、第二子については無償化するなどになりますので、システム改修を行うものです。

問 発達障害早期継続支援事業の内容を伺う。

答 発達障害の可能性のある児童生徒に行われている指導や支援の内容、経過等を適切に進学先等へ引き継ぐための手法について研究するものです。

◆平成28年度国保特別会計

問 一般会計からの繰り入れをしていきながら、国保税を引き上げない方向で運営できないか。

答 国保会計が厳しいのと同じように、一般会計も厳しいので、一般会計・国保会計の全体を考慮して、繰り入れを考えなければなりません。

◆平成28年度後期高齢者医療特別会計

問 保険料一人2千498円の引き上げによって、本市はどのくら増額になるのか。

答 平成28年1月末現在の被保険者数で試算すると総額で1千861万円増額になります。

経済建設

◆平成27年度一般会計補正予算
問 水質対策事業の地下水水質調査業務の検査数と結果を伺う。

答 平成27年度は、南部地区の60箇所を実施しました。基準値を超えた箇所は、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素21箇所、亜硝酸態窒素1箇所、一般細菌1箇所、マンガン3箇所、鉄分1箇所、色度1箇所、臭気4箇所になります。なお、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素が検出された場合は、市で浄水器の補助をしています。

問 榎戸駅整備事業の駅前周辺整備工事の内容を伺う。

答 現在市道に自転車駐車場がありますのでこれを取り壊して、車寄せ、歩道の整備を行い、東口の介護施設の隣に広場を作る予定です。また、榎戸駅周辺の用途地域内にある約350カ所の防犯灯をLED化にする予定です。

◆平成28年度一般会計予算
問 クリーンセンターにある最終処分場はあとのぐら

答 いもつと考えているのか。認可期間は、平成37年度までとなっていますが、平

成26年度に残容量を調査したところ、平成26年度から13年間もつとの測定結果が出ています。

問 北総中央用水の負担分の償還はどのようになるのか。

答 平成30年には国営事業費の負担部分について、償還が始まります。本市の負担は約18億円です。償還方法は、土地改良法では均等の分割、若しくは一括の方法がありますので、現在検討しています。

問 農地中間管理事業の内容を伺う。

答 担い手への農地集積、また集約化、さらに耕作放棄地の解消を加速化するために、農地の出し手と受け手の仲介をする事業です。

問 現在、市営住宅441軒のうち、家賃を滞納されている方は何件あるのか。また、連帯保証人には、ほとんど滞納分家賃を請求していないと聞いているが、どのような状況か。

答 平成26年度決算では、未納者が58件です。連帯保証人にも請求しています。これからは、今まで以上に連帯保証人の責務も含めた中で、請求したいと考えています。

市民に開かれた議会を目指して議会改革を進めています！

議会改革検討協議会は、平成27年11月19日の議会運営委員会で設置の提案があり、各会派の人数に応じて選出されました。第1回の会議は平成28年1月14日に開催され、会長・副会長の選出、今後の会議の進め方についての協議が行われました。第2回の会議は、平成28年2月15日に前任期での改革検討事項の仕分けが行われました。第3回の会議は3月22日に、各会計予算・各会計決算の審査を議長、議会選出監査委員を除く全議員で行うことについての協議（現在は予算は各常任委員会で分割審査、決算は決算審査特別委員会で審査）が行われ、また新たに各会派から改革事項を受け付けることとしました。第4回の会議は4月11日に開催され、決算審査を全議員で行うにあたっての具体的手法についての協議などが行われました。

今後も、月1回以上の会議を行い議会改革について協議を進めてまいりますので、議会だよりにて報告する予定です。



○議会改革検討協議会○

- | | | |
|-----|--------|----|
| 会長 | 鈴木 広美 | 議員 |
| 副会長 | 服部 雅恵 | 議員 |
| 委員 | 丸山 わき子 | 議員 |
| " | 川上 雄次 | 議員 |
| " | 木村 利晴 | 議員 |
| " | 小菅 耕二 | 議員 |
| " | 小澤 孝延 | 議員 |

市政を問う!

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、2月22日(月)、23日(火)、24日(水)の3日間に14名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)

代表 質問

八街市を大きく発展させたい



やちまた21 林 政男

一 教育問題

問 八街市総合計画2015で全国学力学習状況調査との差異について、目標値を設定せず経年で差異をモニタリングするところがあるが、なぜ目標を設定しないのか。

教育長 全国学力・学習状況調査により、本市の調査結果を見ると、例年全国平均、県平均を下回り、過去には10ポイント程度も下回った経緯があります。各学校がそれぞれの実態に合わせて、差異や傾向を分析し、校長が学校経営の方針として示した取り組みをすることが大切であると考えており、具体的な目標値を設定しませんでした。

問 通学道路の整備状況では、一区50号線は用地買収も含めて前向きに進んでいるとのことですが、具体的に何う。

市長 地権者の皆様のご協力をお願いいただき、本年度に用地買収を行っている部分があります。来年度に向けては、整備工事を予定しているところですが、歩道2.5メートル、その他車道を含めて9メートル程度の道路になると考えています。



▲1区50号線(千葉黎明高校グラウンド下から新永川踏切に向う道路)

一 一人に優しい街づくり

問 市役所を訪れた方に気持ちよく接していただくためにはローカウナターは必要です。そこで、市役所のローカウナター設置率の向上はどのような手順で進めるのか。

市長 ローカウナターを設置している窓口は、総合保健福祉センター1階の各課、市民課、国保年金課及び図書館となっております。市民の利用が多い窓口には概ねローカウナターを設置していることから、庁舎等のバリアフリー化が進められていると考えています。今後は市民からの設置要望等を踏まえ、必要な箇所への設置を進めます。

一 職員の配置

問 職員の配置は、民間活用も視野に入れて、アウトソーシングについて本格的に議論すべきではないか。

市長 市にかわって技術や業者が運営することにより、経費削減やサービスの維持、向上が図れるものは、行政が担うべき役割を十分精査した上で、指定管理者制度の導入や民間委託も視野に入れ、検討します。

一 道路問題

問 八街市をこれから大きく発展させるには、道路問題が大変大切です。構想を伺う。

市長 酒々井インターチェンジへのアクセス道路として、佐倉市、富里市、酒々井町と協議し、直接住野地区に入る直線道路の絵図を酒々井町からご提案いただき、3市1町で協議会を立ち上げようと作業を進めています。佐倉インターチェンジのアクセス道路としては、佐倉第三工業団地につながる本市からの道路整備について、佐倉市、八街市の担当者で協議を始めています。

代表質問

新年度予算、
総合戦略を問う

公明党 新宅 雅子



新年度予算について

問 一般会計予算の特徴について伺う。

市長 平成28年度の一般会計予算(案)の特徴は、本市の厳しい財政状況を認識した上で、限られた財源の有効活用を図るため、施策の厳選化と重点化を徹底し歳入に見合った規模の通年型予算としています。

問 重点施策は何か伺う。

市長 平成28年度の重点施策は、榎戸駅自由通路整備及び駅舎橋上化に係る事業。防災行政無線デジタル化整備工事、消防自動車の購入など、災害への備えの充実。ロタウイルス感染症予防接種補助金や、明德やちまたこども園に対する私立認定こども園施設整備費補助金など、子育て環境の充実。八街中学校避難階段設置工事。都市部から農業に興味のある方を対象とした農業体験インターンシップ事業や、八街生姜

した事業を伺う。

市長

新年度予算において前年より廃止、縮小した主な事業は、消防団員の条例定数を前年度の595人から480人に見直したことにより千葉県市町村総合事務組合への消防団員の公務災害・退職報奨金に関する負担金等が244万円減額するほか、ふれあいバス運行事業費が日曜日と年末年始の運行を廃止したことにより、約600万円の減額となります。

総合戦略について

問 八街市の人口減少の推移、減少率を伺う。

市長

本市の人口は、平成22年国勢調査では7万3千212人でしたが、平成27年国勢調査千葉県速報値では7万806人であり、5年間で人口は2千406人減少し、県内11番目。率では3.29%の減で、県内27番目でした。一方、世帯数は、2万7千88世帯となっており、平成22年と比較すると、1千250世帯の増加となっています。

問

結婚、出産、子育ての具体的な施策を伺う。

市長

まず結婚支援として、3月5日(土)に

ホテル日航成田において、八街市主催婚活パーティー「ハロー・マイラブ、幸せへの第一歩」を開催します。対象者は20歳から40歳までの男女20名ずつを募集していましたが、大変好評で男性が26名、女性が37名と、定員数を超えた申し込み状況です。妊娠・出産に関する施策ですが、不妊に悩みながらも経済的な理由から治療を受けずに、子どもを持つことを諦める方も少なくありません。現在、千葉県は、不妊治療のうち、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精に要する費用の一部を助成しています。県内では、独自に特定不妊治療費助成を実施している市町村もあるのですが、今後、市民のニーズを把握しながら、千葉県の動向を踏まえ、本市においても助成制度が可能か、検討していきます。子育てに関する施策として、現在、各課の子育てに関する情報やサービスについて、子どもの成長に合わせてわかりやすく掲載した子育てガイドブックを作成中です。さらに、千葉県で実施している結婚や出産、子育てをサポートするスマートフォンアプリ、ちばマイスタイルダイアリーの活用についても、引き続き周知、啓発を図っていきます。

代表質問

未来の八街は

ここから始まります！

誠和会 小高良則



一 新年度予算編成

問 平成28年度予算編成について伺う。

市長 予算編成方針及び予算要求基準に基づいて歳入に見合った規模の範囲内で既存事業の通常要求を行うとともに、新規事業、拡充事業については事業の選択を行い、暮らし、福祉、教育部門も含めバランスのとれた予算配分に努めました。

問 榎戸駅整備事業について、竣工に向けての工程について伺う。

建設部長

現在の跨線橋を使用しながら先に新上下線ホームを結ぶ新跨線橋を作り、旧跨線橋を解体、その後自由通路を造るというのが大きな流れで、平成30年度においては自由通路鉄骨の建方、屋根、外壁、内装工事、ホーム上屋設置工事、電気設備工事、エレベーター設置工事、ホーム舗装工事、西口広場の整備工事、旧駅舎の解体と進めて平成30

年度完成を予定しています。

問 幾つかの自治体では防犯ボックスを設置しているが、本市の考えを伺う。

市長

防犯ボックスは今千葉県が主体となり、千葉市中央区、市川市、柏市、船橋市に設置を進めていきましたが、県の平成28年度当初予算案では、市町村が設置する場合は防犯ボックスの費用の全額を県が補助、上限は400万円。また、勤務員の人件費についても3分の2の補助で、5年間で上限は年間600万円を県が補助するようです。安全・安心な街



づくりの推進は、市にとっては重要な取り組みの一つであり、現在強い関心をもって、県の担当者などから説明をきいてるところです。今後、県の予算成立状況、募集要項の内容を見て、正式に判断する形にはなりません。前向きに推進したいと考えています。

問 高等職業訓練促進給付金等支給事業について伺う。

市長

ひとり親家庭の支援として、安定した就労につながるよう、資格取得に向けた支援をするものです。この給付金は、看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士などの経済的自立に効果的な資格を取得するため、養成機関で修了する場合に、修了期間中の生活負担を軽減するために支給するものです。

一 空き家バンク制度

問 空き家バンク制度の活用者を対象とした空き家リフォーム工事補助金の内容を伺う。

総務部長

空き家バンクに登録された空き家の有効活用を図るために、市内業者の施工による空き家のリフォーム工事をするものに対し

て工事費の一部を助成することを目的に、平成27年3月から制度化しました。対象は、空き家バンクに登録された空き家の所有者、不動産売買契約もしくは賃貸借契約を締結した方になります。工事に要した工事費の10分の1で、10万円が限度額となります。

一 教育問題

問 平成28年度教育方針及び学校教育の特色ある取り組みを伺う。

教育長

本市の特色である幼小中高連携教育の推進は今後も継承する重点課題であり、各中学校区ごとに八街市教育センターの研究指定を行い、共通のテーマのもと、教育実践を行ってまいります。また、平成27年度に文部科学省より研究委託された発達障害の可能性のある児童・生徒に対する早期・継続支援事業が2年目となります。本事業を通して、研究指定校の特別支援教育における教職員の専門性向上と学校種を超えた引継ぎのシステムづくりに取り組まします。



代表質問

市民のくらしを
つなげる市政運営を

日本共産党 丸山 わき子



【新年度予算について】

問 平成28年度は、前年度比で2.6%増の199億円

という予算案が示されたが、市民生活に寄り添った予算編成になったのか伺う。

市長

財政健全化に向けた取り組みをした上で、市民生活に必要なサービスを最大限に取り入れた予算編成になっていると考えています。

問 市民の暮らし向きは悪化しており、厚生労働省が昨年7月に発表した国民生活基本調査では、子どものいる世帯で「生活が苦しい」と答えた世帯は67.4%にもなっている。次代を担う子どもたちが本心に豊かに育つ施策が必要である。また、4月から国保税の引き上げ、後期高齢者の保険料も引き上げとなり、払いきれないという悲鳴に対し、どう応えていくのか。こつこつという施策も必要ではないか。新年度予算編成にあたって、市税収の確保、市税以外の徴収強化、財産の有効活用

など、歳入確保の方針が示されているが、具体的には、どのように取り組むのか伺う。

市長

点から、制度に沿った方法により滞納整理を促進し収納率向上に向け、より一層の取り組み強化に努めます。市税以外の徴収強化は、収入未済額の多い各種料金等の徴収について、行財政推進本部の中で検討を進めます。市有財産の有効活用は、効果的に活用されていない未利用地等について売却や貸し付け等を検討、有効活用で財産収入の増収に努めます。

問

リストラ、病気、けがをしたことをきっかけに滞納になってしまつ方が圧倒的多数だと思つが、市民の皆さんの暮らしをまず安定させるための取り組みが必要である。今後の徴収のあり方について、どのように考えているのか伺う。

総務部長

何らかの原因で滞納せざるを得なくなつてしまつた方に関しては、十分にお話を伺つた中で丁

寧な対応をしたいと考えています。

【組織の見直しについて】

問 クリーンセンターの今後の取り組みについて、総合計画の中で、市は初めて燃やさないごみ行政を掲げたが、どのように進めるのか伺う。

市長

平成28年4月1日からクリーンセンターをクリーン推進課とし、ごみ減量の取り組みを強化し、広報活動の充実を図るほか、事業系ごみの展開検査も含め分別の徹底を促すとともに、市民の皆様方の協力を得ながら家庭ごみの減量や資源化の方策を検討し、燃やさないごみ行政を目指します。

問

総合計画の「めざそう！ね(値)」では、ごみの施設搬入量を2018年までに5%減を目指すとしているが、わずか5%削減で成果があるのか。今クリーンセンターに約10億円かかっている管理費を1億円減らすためにはどんな取り組みをしたらいのか、あるいは2億円減らすためにはといた、逆算方式での取り組みが必要ではないか。ぜひ進めていただきたいが如何か。

市長

ご提案については、しっかりと研究します。

問

新しくなる子育て支援課は、子育ての環境づくりの中心的な役割を果たす部署であり、子育ての情報発信、相談体制の構築を図っていくことが求められるが、どのように進めようとしているのか伺う。

市長

今後さらに、妊娠からの子育てまでの切れ目のない支援について、子育て中の親が抱く悩みや不安を気軽に相談できる体制の充実を図ります。平成28年度は、家庭児童相談室の相談員を1名増員し、適切な支援につながるよう体制の整備を図ります。

問

子育て環境づくりのひとつとして、児童館は欠かせない施設である。この間、八街市は児童クラブがあるから、児童館は要らないとしてきたが、印旛郡市で児童館がないのは八街市だけとなっている。児童館建設に向けての具体的な取り組みを求めるが如何か。

市長

子どもが自由に遊べ、居場所として活用できる地域の子育て支援機能をあわせ持つ施設の整備の検討を行ない、平成30年度を目途に設置できるようにします。

個人質問

環境問題を問う

公明党 服部 雅恵



「ゴミの減量化に向けて」

問 私たちが出すごみ処理には、毎年多額の経費がかかっています。焼却炉の延命、焼却灰処理、埋め立て処分場の確保などさまざまな問題がある今、ごみの減量化は必要不可欠と考えますが、本市のごみ減量化に向けた取り組みを伺う。

市長

平成25年度のクリーンセンターで処分した一般廃棄物の総量は2万5千725トンであり、平成37年度には12.7%削減し、2万2千453トンを計画しています。1人1日あたりのごみ排出量は、平成25年度の947グラムを5%削減して平成37年度は900グラムとする計画です。毎年



▲市クリーンセンター

焼却処分されるごみは、紙・布・厨芥類が全体の64%を占めているので、紙の分別及び生ごみの減量推進を図る必要があると考えています。

市長

雑紙の資源化に力を入れるべきと思うが如何か。

市長

焼却ごみの減量化を図る上では、雑紙の資源化は有効な手段と考えています。雑紙の回収については、平成25年10月から開始していますが、周知不足やわかりづらさもあり、回収量が増えていない状況が見られます。そこで、本年度、市役所各部署及び市内保育園、幼稚園、小中学校へ雑紙の分別についてわかりやすいチラシを配布。その後、広報やちまたや自治会の回覧を活用して、市民への周知に努めているところです。

市長

さらなるリサイクルに対するご意見を伺う。

経済環境部長

布についても早い時期に収集をしていきたいと考えています。

個人質問

「ふるさと納税」で活力ある街づくり

公明党 角 麻子



「ふるさと納税について」

問 ふるさと納税をきっかけに本市を全国へ周知するための方策について伺う。

市長

各種イベントにおいてふるさと納税のパンフレットの配布やインターネット上のふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」に掲載し周知しています。また、現在インターネット上で寄付の申し込みからクレジット決済までを可能とするための準備をしています。これにより、全国の方々から、さらなる寄付の申し込みが増えることを期待しています。

市長

返礼品を市内業者からの提案を受け入れ、商品だけでなく市内の施設利用券や乗馬体験、農業体験などの魅力あるものや市内から人が訪れるようなものを取り入れては如何か。

総務部長

5品目ほど加えて現在15品目とされており随時拡充していきたいと考えています。また、市内



▲ふるさと（八街の風景）

には、ブルーベリー園や乗馬クラブ等もあるので、少しでもお礼を充実していきたいと考えています。

市長

寄付金の金額に応じて返礼品を設定してみてはどうか。

総務部長

十分検討していると考えています。それに見合った返礼品というものを考え検討していきます。

個人質問

地産地消促進による
活力あるまちづくり

誠和会 林 修三



農業振興のために

地産地消・食育の推進について伺う。

市長

里芋はガラクタールムチンにより、認知症の予防や脳の活性化につながり、ニンジンやピータカロテンにより、がんの免疫力を高めるなど、これら八街で採れる特産品は非常に効能が高いことが知られています。

これからは地産地消を含めた中で八街市の消費をさらに拡大するため、食文化の効果、食文化のPRも合わせてやらなければならぬと考えています。

産業まつりの支援について伺う。

市長

地産地消の促進を図るため、産業まつりで、本市特産野菜を使ったアイデア料理コンテストを実施しています。優秀な作品のレシピを公開して多くの市民の皆様にご利用して頂けるよう努めています。商工会議所の飲食部会へもレシピを提供し、各店舗で活用して頂

けるようお願いしています。

地産地消をアイデア料理の中で商品化していく考えについて伺う。

経済環境部長

現在千葉黎明高校が企業と連携し、商品化を考えていると聞いており、アイデア料理コンテストの優勝者という冠をつけて頂きたいと話をさせて頂いています。今後も地元飲食店での活用や商品化などさらなる発展をして頂ければと考えています。

地産地消の相談窓口の開設について伺う。

市長

現在も農政課で受け付けていますが、今後先進的な取り組み事例を参考にすると共に、千葉県地産地消の窓口である流通販売課と情報交換するなどして、積極的に相談に応じられる体制づくりを検討したいと考えています。

※その他の質問

◆地方創生総合戦略・「るるる八街」の活用等について

個人質問

豊かで住みよい
安全・安心な街づくりのため

誠和会 木村 利晴



道路問題について

八街市総合計画の交通安全推進について伺う。

市長

生活道路において緊急に歩行者・自転車の安全対策が必要な地区を「あんしん歩行エリア」として指定を受け、八街周辺地区1.85平方キロメートルの事業を実施しました。

横断歩道で横断中と認識させる方法について伺う。

総務部長

安全に道路を横断するには信号の設置が一番効果的です。信号機のない場所では、ゼブラストップ活動。前方、ブレーキ、ライトの3つをドライバリーに強く意識させ、横断歩道手前で確実にストップする交通事故ストップ活動を実施しています。

防災について

市の防災訓練を全域で一斉にできないのか伺う。

市長

今後、各地域で自主的に防災訓練が実施されたら、市内一斉の避難訓練、避難所運営マニュアルに沿った避難所設置及び運営訓練、災害対策本部への情報伝達訓練など、より実践的な訓練の実施を検討したいと考えています。

防災体制の充実について伺う。

市長

地域防災力の強化が求められます。中学生や高校生にも参加いただき、避難所運営や初期消火、及び応急救護などの体験が出来るような訓練も取り入れたいと考えています。

健康について

健康と思いきやりにあふれる街づくりについて伺う。

市長

市民一人ひとりが自己管理による心と体の健康づくり、特定健康診断、各種検診や健康教育、相談、生活習慣病予防講演会を実施しています。

個人質問

農業の担い手確保を

誠和会 小山 栄治



認定農業者の確保

問 農業の担い手育成には認定農業者の確保が大切と考えるが、本市の取り組みを伺う。

市長

現在本市の認定農業者数は199名となっております。平成23年度末の339名をピークに減少傾向にあります。しかし、国や県の補助事業を活用する際、認定農業者であることが要件とされている事業が増加していることから、今後補助事業等の活用を検討している意欲ある担い手の農業者等を中心に、制度の周知と認定の手続きをお願いしているところであります。担い手経営体となる認定農業者の確保に努めます。



▲農業体験（3月12日、13日）

農業担い手育成塾

問 埼玉県内で20の塾が設置され、成果を上げている農業担い手育成塾。本市でも開設できないか伺う。

市長

農業担い手育成塾を見実施している事例を見ると、市町村・農協・農業委員会等の関係機関が連携し、農科大学卒業程度の一定レベルの研修を終了した新規参入希望者に対して、実践研修、農地確保、資金相談等を実施し、円滑な就農を支援しています。本市においては、新規参入希望者からの農地の確保や資金に関する相談等は、関係機関と連携を図り個々に対応しています。実践研修は、農業経営体育成セミナーを活用し、本市から現在16名が参加しています。担い手塾の開設は、新規就農者の確保に向けて有効な手段の一つであると考え、開設に向けて研究するように指示しています。

個人質問

未来ある街づくりに向けて

誠和会 鈴木 広美



農業問題について

問 落花生のGI（ジューアイ・地理的表示）の登録について伺う。

経済環境部長

GI制度は、主に5つの登録要件があります。
 1. 生産加工業者の団体からの申請であること
 2. 品質等の特性が当該地域と結び付いていること
 3. 一定期間継続して生産されていること
 4. 産地と結び付いた品質の基準を定めていること
 5. 生産・加工業者の品質を守るよう団体が管理していることがあります。
 市全体で生産方法や品種、品質の統一基準が必要ですので、難しい面もありますが、ブランド力を高めるには、有効な制度と考えています。また、調査・研究しながら県と連携を図り、前向きに検討します。



企業誘致について

問 優遇措置制度を企業にどのように働きかけるのか伺う。

副市長

呼びかけの方法は、県でも企業誘致のためのパンフレットを作成し、企業に向けて県へ呼び込むPR活動等を行っています。千葉県地域再生計画を策定して、東京23区にある本社機能の県への移転なども進めようとしているところです。本市のホームページへの掲載や商工会議所などの連携はもちろん、県の担当課とも十分連携を図り、PRを図りたいと考えています。

※その他の質問
 ◆学校教育問題

- ・CS（コミュニティ・スクール）について
- ・八街中学校区の三学期2期制について
- ・不登校、長期欠席者の対応策について「睡眠ログ（眠育）の導入について」

個人質問
参議院議員選挙より
イオン八街店に「期日前投票所開設！」

山口 孝弘



投票率アップと政治参加の促進

問 八街市における投票率の推移と傾向は。

選挙管理委員会 事務局長 平成27年の八街市議会議員一般選挙において全体の投票率は43.71%。傾向としては20代、30代の投票率が低い結果です。

問 参議院議員選挙が7月に予定されている。選挙権を得られる年齢が20歳以上から18歳以上へ引き下げられたことによる影響と政治参加への促進は。

選挙管理委員会 事務局長 平成28年1月31日現在で18歳、19歳の人口は1千622人で、直近の選挙人名簿に占める割合は



▲イオン八街店

2.6%。投票率の低下が懸念されますが、啓発活動を通じて高校生に選挙について関心を持ってもらい、政治意識の向上、社会参加意欲の向上を図ります。

問 投票率アップに向けた具体的な改善策は。

選挙管理委員会 事務局長 投票率や利便性の向上を図るため、「イオン八街店」に期日前投票所を増設することも検討していますので、さまざまな取り組みを総合的に実施し、投票率向上に努めます。

問 なぜ、「イオン八街店」なのか。

選挙管理委員会 事務局長 第7投票所（文違）は投票率が全般的に低い。そして有権者数が多い。イオンの商業施設ですと、たくさんの集客が見込めて、効果が上がるという判断のもとに協議を続けています。

※その他の質問
◆感染症対策・八街の魅力発信

個人質問
口利き記録制度の
創設について

桜田 秀雄



口利き記録制度

問 口利き記録制度とは、議員らの行政に対する口利きを記録に残すことで不当な介入に歯止めをかけようと、2002年、鳥取県などがはじめ、以後、各地の自治体で条例や要綱、規則などで制定されている。創設する考えはないか。

市長 その行為をさせるように、また、させようとする不正・違法に働きかけが行なわれた場合は、大きな問題を引き起こすこととなります。今回、地方公務員法の一部改正を受け、改めて適切な対応について見詰め直すことが必要と考えますので、記録のあり方について検討します。

空き家対策

問 空き家の実態調査結果、及び今後の取り組みは。

市長 地域活性化交付金を活用し実態調査を行ない、該当物件は480件と報告

防犯対策

問 平成27年度の犯罪発生件数は関係者の努力もあって前年に比べ232件減少し、799件と、初めて4ケタを割り込みました。今後の取り組みは。

市長 現在、街頭防犯カメラは7台、3月から八街駅北側交差点で運用を開始します。また、施設管理を目的に、八街駅駐輪場に1台、けやきの森公園に4台、中央公園に2台設置しています。今後とも犯罪のない明るいまちづくりを推進します。

個人質問

くらし・安全優先の市政を

日本共産党 京増 藤江



一命を守る市政に

問 国保税一人あたり約6千円引き上げの収納率への影響を伺う。

市長 平成9年度、16年度の保険税改正時にはそれぞれ低下しました。

問 国保税引き上げで収納率は下がり、払いきれない世帯に、病院窓口で医療費全額を支払う資格証明書を発行している。資格証明書を発行された世帯の受診率とその保険給付費を伺う。

市長 平成26年度末に資格証明書の発行世帯は217世帯、321人で、受診した件数は29件、受診率は約9%。費用の合計額は約27万円です。

問 正規、または短期保険証持者の93倍以上。資格証明書では病院にかかれない。本市は平成16年に健康安全都市宣言をしており、発行中止を求めるとして

何か。

市長 低所得者への負担軽減策の拡充などについて、市長会で決議しており、私も頑張ります。

一学習支援事業実施を

問 経済的に大変な子ども達への学習支援・子ども食堂などの事業実施を求めるとして

市民部長 子どもの貧困解消に向けて、学習支援事業についての話し合いの場等、アンケートなどの形で課題を整理します。

一道路の安全確保を

問 朝日十字路、二区調整地周辺の側溝工事後の段差解消を求めるとして

市長 朝日十字路については対応を検討し、二区調整池から三区38号線は今年度中に段差を解消します。

個人質問

八街の将来を見据えた街づくりについて

やちまた21 小澤 孝延



一地域コミュニティ醸成

問 八街市の将来像をイメージした駅前開発について伺う。

市長 公共施設用地は、総合的な文化施設整備にとらわれず、民間活用も含めた有効活用を多角的に調査・検討します。莫大な事業費が必要な南口開発については、当分の間、困難であると考えます。

問 南口の空き店舗等を有効活用する手法として、定年退職された地域に在住する様々な経験、知識を有する方や大学生などが講師となって、子ども道場などを開設して、学習支援を推進してはどうか。

教育次長 平成28年度から平日の放課後に放課後子ども教室を計画しています。放課後児童クラブとの連携を視野に入れることから、学校の空き教室や学校近隣施設を活用する予定のため、空き店舗の活用は、現在のところ考えていません。

一子ども・子育て支援

問 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点「子育て世代包括支援センター事業」が展開されるにあたって、八街市子ども・子育て支援事業計画の具体的な事業内容を伺う。

市長 妊娠・出産・育児に ついて学ぶ母親学級の実施、産婦や新生児訪問・赤ちゃん訪問などの充実や、公立保育園1園、私立保育園2園での子育て支援センター事業の実施及び要保護児童への相談体制等、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の実施に向けて、必要な情報を共有し、総合的な相談や支援をするための各事業を展開しています。今後は、この計画を基本として、地域における子育て支援のネットワークの形成を目指します。



八街市総合防災訓練が実施されました

平成 28 年 2 月 21 日(日)に陸上自衛隊第一空挺団、佐倉市八街市酒々井町消防組合、ほか、企業・団体のご協力により、実住小学校において総合防災訓練が参加者約 370 名により行われました。



▲地震体験車



▲心肺蘇生訓練



▲避難所設置訓練



▲煙体験

次回 6 月定例会日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31 本会議 定例会開会	6/1	2	3 本会議 (一般質問)	4
5	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8	9 本会議 (議案質疑)	10	11
12	13 委員会 総務	14 委員会 文教福祉	15 委員会 経済建設	16	17	18
19	20	21 本会議 定例会閉会	22	23	24	25

※午前 10 時開会 (変更になる場合があります)

議会日誌

[2月]

- 3日 ・北総地区市議会正副議長会臨時会 白井市
- 4日 ・印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会 佐倉市
・全員協議会
- 7日 ・八街市定例表彰式
- 9日 ・議会運営委員会
- ・印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会 成田市
- 10日 ・後期高齢者医療広域連合議会定例会 千葉市
- ・印旛衛生施設管理組合定例会 佐倉市
- ・消防組合議会定例会 佐倉市
- 11日 ・八街市ロードレース大会
- 14日 ・福祉まつり
- 15日 ・議会改革検討協議会
- 17日 ・本会議 (3月定例会開会) ・全員協議会
- 20日 ・社会教育振興大会及び子育て講演会
- 21日 ・市総合防災訓練 (実住小学校にて)
- 22～24日 ・本会議 ・一般質問
- 26日 ・本会議 ・議案質疑

[3月]

- 1～2日 ・総務常任委員会
- 3～4日 ・文教福祉常任委員会
- 7～8日 ・経済建設常任委員会
- 16日 ・本会議 (3月定例会閉会) ・全員協議会 ・議会運営委員会
- 17日 ・議長 ・経済建設常任委員会 ・農業委員と意見交換会
- 22日 ・議会改革検討協議会
- 23日 ・消防組合臨時会
- 24～25日 ・誠和会行政視察 桐生市
- 28日 ・印旛広域市町村圏事務組合臨時議会 佐倉市

[4月]

- 9日 ・スポーツ少年団定時総会
- 10日 ・消防団感謝状授与式
- 11日 ・議会改革検討協議会
- 15日 ・連合婦人会定期総会
・農業研究会総代会
- 19日 ・文化協会定例総会
- 21日 ・千葉県市議会議長会定例総会 千葉市
- 26日 ・関東市議会議長会定期総会 浦和市
- 27日 ・議会改革検討協議会

